

近畿特集記事を終って

関西は、関東とならびわが国産業の両輪の一つを成す地域として、土木開発事業も盛大に推進されているので、諸報告記事の寄せられる機会も、他支部にくらべると比較的多く、必ずしも地域特集号を編む要はなかろうとのご意見もあったようであるが、編集部のおすすめにより、各支部特集のしめくりを承けたまわって有終の美をかざるべく、最初の編集準備会を持ったのは、新春の1月10日であった。“近畿圏開発の総合ビジョンを中核として、各分野で計画され、実行に移されている諸事業の全貌を、できるだけ広範囲に紹介する”ことに方針を定め、内容の編成、割りつけを打合せて快調なすべり出しを見たのであるが、本格的な編集作業に入る頃には、毎度の悪い習慣で締切も間際、例年より早い桜が咲きそう頃となってしまった。よせられた原稿、諸資料も予定をはるかに上まわるものとなり、従来の記事と多少とも重複するもの、あるいは近い将来、記事の予想される事項と判断されるものを中心として、かなりの圧縮を余議なくされることとなり、その結果に、編集子の知識の足らざることも加わって、採りあげられた内容が軽

“夢のかけはし” 調査進む

建設省は昨年4月現地に調査事務所を設けて、本州四国連絡道路の本格的な調査に踏切ったが、昭和38年度分も順調に終りいよいよ第2年目を迎えた。

この調査は本州および四国に建設予定の高速道路相互を結び将来のわが国の幹線高速道路網の一部として考えられているもので、前年度調査費3億5000万円に比べて6億円と飛躍的に増額され予備調査としての山場にさしかかることになる。わが国としては、全く未経験の仕事であり調査方法自体が大きい難門で、学界・研究所・民間会社をふくめた協力体制のもとに実施されている。

本年の調査の主体は昨年に引き続いて地形・地質・風・霧・浪波などの基本となる自然条件を把握することに置かれているが、大型振動台や風洞による耐風・耐震の試験解析を促進するとともに、各種の試算設計を実施して橋架の構造形式を検討することになっている。また施工面での問題もきわめて多く、その根底となる工事用アンカー、水中掘削、ケーブルスピニングなどについて

重の統一を欠き、竜頭蛇尾に終るの感なきやを恐れているが、何卒、ご寛容、ご賢察のほどをお願い致したい。

原稿、資料をご提供頂いた各方面の方々に厚くお礼申し上げるとともに、この記事が、近畿地区の開発事業全般について、より高い観点から総合的概観を得るための一助ともなれば、はなはだうれしく思う次第である。

いろいろの事情から、名阪道路の紹介ができなかったことは予定に入れていただけに残念であったが、名神高速道路については、主として管理運営上の点から、興味深い寄稿があり、一般の報告記事のわくに組み入れて掲載した。

編集委員長 松尾新一郎 京都大学教授土木工学科
委員 赤尾親助 大阪大学助教授構築工学科
" 西村昭 神戸大学助教授土木工学科

原稿ならびに資料提供先(順不同)

建設省近畿地方建設局

大阪府・大阪市・兵庫県・神戸市・和歌山県・京都府・

滋賀県

農林省近畿農政局

日本道路公団大阪支社・同名神高速道路管理局

阪神高速道路公団

国鉄大阪工事事務所

運輸省第三港湾建設局・運輸省大阪空港保安事務所

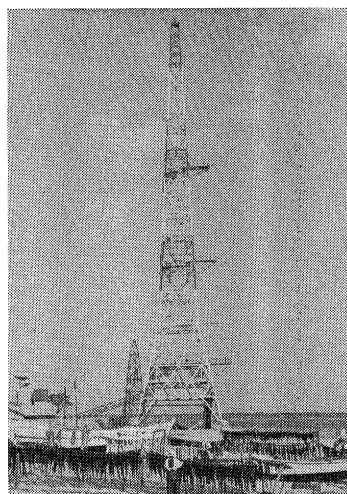
の基礎的実験も予定されている。

瀬戸内海は海の銀座とも称され、大小の船の往来はきわめて多く、船舶航行と橋の設計施工との関係は重要なことであり、昨年度実施した明石海峡の船舶航跡調査に引き続いて詳細な湖流調査や風波観測を行なって、その対策を検討する計画である。

春や秋に発生する霧も、上記船舶航行に大きい影響をおよぼすほか、将来の自動車交通にも問題を投げかけるものでその調査にも着手することになっている。

観測塔全景

海上風の特徴を知るために神戸市垂水海岸に完成した、高さ80mの観測塔で5層に測定するほか、地震測定や塗装試験にも使用されている



近畿圏の工事 トピックス

1, 2 高砂地先臨海用地埋立造成工事を写したものである。造成面積216haで兵庫県が昭和33年来施工中の工事で、撮影年月日は、昭和37年10月23日である。

3 近畿日本鉄道KK・新生駒トンネルの西抗口（石切方）を写したものである。

4 名神高速道路天王山トンネルを写したものである。

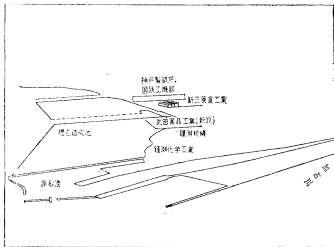
5 国鉄・向日町客車操車場を写したものである（一部使用状況）。

6 阪神高速道路公団・阪神高速道路西横堀川工区 清水橋付近の建設状況を写したものである。

7 国鉄・山陽線 鷹取～西明石間 線増工事のうち、明石駅高架橋施工状況を写したものである。

カット写真は、名神高速道路の連続スラブ橋である。

写真2～7 関西支部 提供、カット写真 日本道路公団 提供



1	2	3
	4	5
	6	7

